

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略
令和4年度分 評価・検証資料

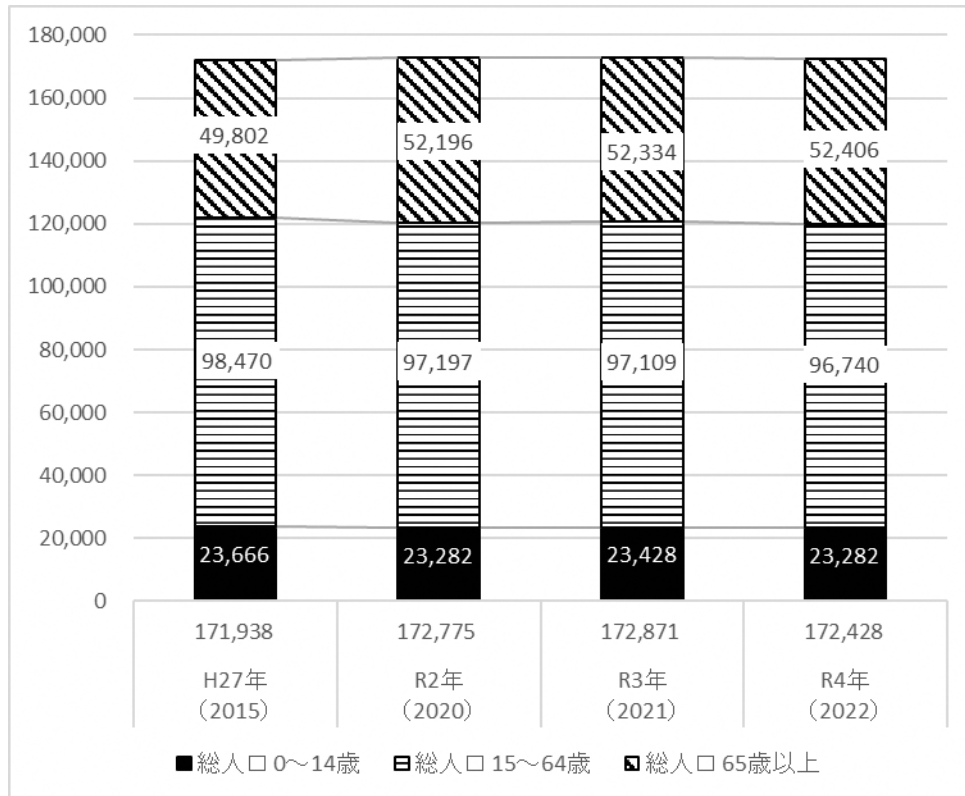
出雲市の人口動向

(1) 人口の推移

平成27年及び令和2年は国勢調査の人口、令和3年・4年は、令和2年国勢調査人口をもとに、島根県が実施する「人口移動調査」により算出した推計人口です。(10月1日現在) (人)

| | H27年国調 (2015) | R2年国調 (2020) | R3年 (2021) | R4年 (2022) | 増減 R4-H27 |
|---------|------------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| 総人口 | 171,938 | 172,775 | 172,871 | 172,428 | 490 |
| 0～14歳 | 23,666 | 23,282 | 23,428 | 23,282 | △ 384 |
| 15～64歳 | 98,470 | 97,197 | 97,109 | 96,740 | △ 1,730 |
| 65歳以上 | 49,802 | 52,196 | 52,334 | 52,406 | 2,604 |
| (75歳以上) | 26,529 | 27,284 | 26,888 | 27,916 | 1,387 |

※国勢調査人口は年齢・国籍が不詳であった値(不詳補完値)を含めた人口です。島根県「人口移動調査」では国勢調査人口をもとに推計人口を算出しています。



- ・ 総人口は 490人増加しています。
- ・ 年少人口(0歳～14歳)は 384人減少しました。
- ・ 生産年齢人口(15歳～64歳)は 1,730人減少しました。
- ・ 老年人口(65歳以上)は 2,604人増加し、年々増加傾向です。

総人口は増加しているものの、年少人口と生産年齢人口は減少し、老年人口が増加しており、これまでと同様に、少子高齢化の状況が進んでいます。

(2) 人口(実績)と目標人口、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計の比較

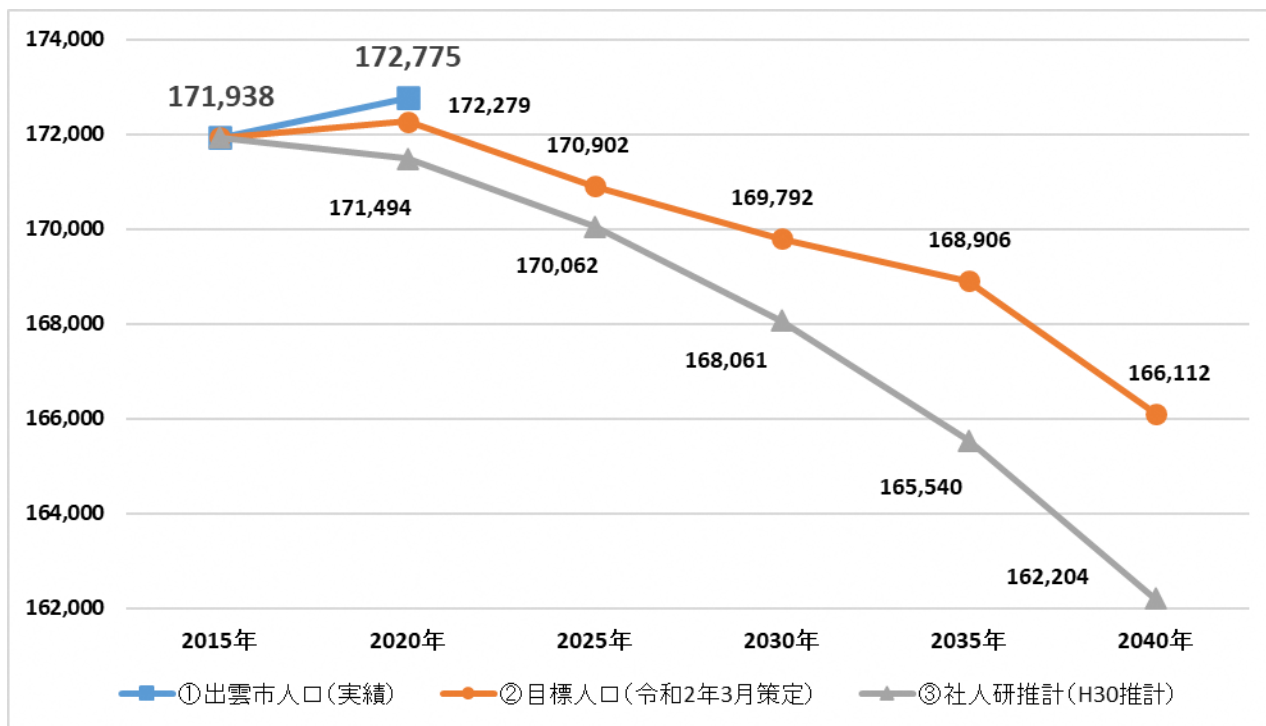
- ①人口(実績) 平成27年(2015)国勢調査確定値、令和2年(2020)国勢調査確定値です。
- ②目標人口 社人研による平成30年推計人口に、政策による効果(出生率の上昇、社会増)を見込んで推計した数値です。
- ③社人研推計 平成27年(2015)国勢調査による男女・年齢別人口を基準として、出生、死亡、社会移動に関する将来の仮定値を当てはめていく方法(コーホート要因法)により、将来人口を推計しています。

(単位:人)

| | H27 2015年 | R2 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 |
|-----------------|--------------|-------------|---------|---------|---------|---------|
| ①出雲市人口(実績) | 171,938 | 172,775 | | | | |
| ②目標人口(令和2年3月策定) | 171,938 | 172,279 | 170,902 | 169,792 | 168,906 | 166,112 |
| ③社人研推計(H30推計) | 171,938 | 171,494 | 170,062 | 168,061 | 165,540 | 162,204 |

※2015年及び2020年の出雲市人口は国勢調査確定値

(単位:人)



令和2年国勢調査による総人口(172,775人)は、出雲市人口ビジョンによる2020年の目標人口(172,279人)を496人上回っています。

(3) 地域・地区別人口の推移

地区別人口の推移

| 地域名 | 平成27年 9月末 | 令和4年 9月末 | R4-H27 増減率 (%) |
|-------------|---------------|---------------|----------------------|
| 総数 | 174,804 | 174,341 | △ 0.3 |
| 出雲地域 | 92,140 | 95,136 | 3.3 |
| 今市地区 | 6,543 | 6,331 | △ 3.2 |
| 大津地区 | 9,583 | 9,972 | 4.1 |
| 塩冶地区 | 15,323 | 15,815 | 3.2 |
| 古志地区 | 2,046 | 2,020 | △ 1.3 |
| 高松地区 | 10,130 | 10,780 | 6.4 |
| 四絡地区 | 11,437 | 12,572 | 9.9 |
| 高浜地区 | 3,778 | 3,853 | 2.0 |
| 川跡地区 | 9,693 | 10,409 | 7.4 |
| 鳶巣地区 | 1,568 | 1,594 | 1.7 |
| 上津地区 | 1,315 | 1,108 | △ 15.7 |
| 稗原地区 | 1,856 | 1,568 | △ 15.5 |
| 朝山地区 | 1,864 | 1,622 | △ 13.0 |
| 乙立地区 | 656 | 537 | △ 18.1 |
| 神門地区 | 7,514 | 8,339 | 11.0 |
| 神西地区 | 3,740 | 3,636 | △ 2.8 |
| 長浜地区 | 5,094 | 4,980 | △ 2.2 |
| 斐川地域 | 28,677 | 30,163 | 5.2 |
| 荘原地区 | 7,262 | 7,495 | 3.2 |
| 阿宮地区 | 487 | 397 | △ 18.5 |
| 出西地区 | 4,590 | 5,037 | 9.7 |
| 伊波野地区 | 6,189 | 6,884 | 11.2 |
| 直江地区 | 3,550 | 3,945 | 11.1 |
| 久木地区 | 2,471 | 2,482 | 0.4 |
| 出東地区 | 4,128 | 3,923 | △ 5.0 |

| 地域名 | 平成27年 9月末 | 令和4年 9月末 | R4-H27 増減率 (%) |
|-------------|---------------|---------------|----------------------|
| 平田地域 | 26,276 | 23,766 | △ 9.6 |
| 平田地区 | 6,904 | 6,564 | △ 4.9 |
| 灘分地区 | 3,573 | 3,242 | △ 9.3 |
| 国富地区 | 3,028 | 2,821 | △ 6.8 |
| 西田地区 | 1,749 | 1,488 | △ 14.9 |
| 鰐淵地区 | 684 | 572 | △ 16.4 |
| 久多美地区 | 2,237 | 2,058 | △ 8.0 |
| 桧山地区 | 1,417 | 1,281 | △ 9.6 |
| 東地区 | 2,668 | 2,347 | △ 12.0 |
| 北浜地区 | 1,166 | 967 | △ 17.1 |
| 佐香地区 | 1,496 | 1,219 | △ 18.5 |
| 伊野地区 | 1,354 | 1,207 | △ 10.9 |
| 佐田地域 | 3,599 | 2,907 | △ 19.2 |
| 須佐地区 | 2,060 | 1,653 | △ 19.8 |
| 窪田地区 | 1,539 | 1,254 | △ 18.5 |
| 多伎地域 | 3,659 | 3,215 | △ 12.1 |
| 湖陵地域 | 5,444 | 5,053 | △ 7.2 |
| 大社地域 | 15,009 | 14,101 | △ 6.0 |
| 遙堪地区 | 2,378 | 2,264 | △ 4.8 |
| 荒木地区 | 6,084 | 6,075 | △ 0.1 |
| 大社地区 | 5,596 | 5,007 | △ 10.5 |
| 日御碕地区 | 722 | 581 | △ 19.5 |
| 鵜鷺地区 | 229 | 174 | △ 24.0 |

出典) 住民基本台帳人口

- ・ 出雲及び斐川地域では人口が増加しています。
- ・ 平田、佐田、多伎、湖陵及び大社地域では人口が減少しています。
- ・ 地区別では、出雲地域、斐川地域の13地区で増加している一方で、その他の30地区、特に山間部や海岸部での減少傾向が顕著となっています。

人口が増加傾向にある地域と減少傾向にある地域があり、その傾向は年々顕著になっています。

出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に係る令和4年度進捗状況

(1) 総合戦略の基本目標に係る実施結果

| 基本目標 | 数値目標 (R2~R6) | R4 実績値 |
|---|--|-----------------------------|
| (1)出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する | 雇用創出 (5年間) 1,000人 (H27~R元年度実績 1,537人) | 380人 (R2~4年度実績 993人) |
| (2)出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる | 社会増〔転入-転出〕(5年間) 1,600人 (H27~R元年度実績 3,060人) | ▲44人 (R2~4年度実績 864人) |
| (3)出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる | 出生数(5年間) 8,000人 (H27~R元年度実績 7,486人) | 1,350人 (R2~4年度実績 4,221人) |
| (4)住みやすさ No.1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める | 市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90% (R元年度調査 86%) | 89.4% (R3年度調査結果より) |
| (5)広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす | 中海・宍道湖・大山圏域人口60万人の維持 (R2年3月末住民基本台帳人口 64.7万人) | 63.3万人 (R5年3月末住民基本台帳人口) |

※(5)は、「中海・宍道湖・大山圏域市長会」の構成市の共通目標

(2) 基本目標毎の重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

| | 指標数 | 評価 | | | | |
|---------|-----|----|----|----|----|-----|
| | | A | B | C | D | その他 |
| 合計 | 102 | 37 | 32 | 16 | 12 | 5 |
| 基本目標(1) | 20 | 11 | 5 | 2 | 2 | 0 |
| 基本目標(2) | 11 | 6 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| 基本目標(3) | 42 | 14 | 17 | 3 | 3 | 5 |
| 基本目標(4) | 23 | 6 | 8 | 5 | 4 | 0 |
| 基本目標(5) | 6 | 0 | 1 | 4 | 1 | 0 |

【評価方法】令和4年度の目標値と実績値とを比較して達成率を算出し評価区分を判定

A：「R4年度目標値」に対する令和4年度実績値の達成率「10割以上」

B：「R4年度目標値」に対する令和4年度実績値の達成率「8割以上10割未満」

C：「R4年度目標値」に対する令和4年度実績値の達成率「6割以上8割未満」

D：「R4年度目標値」に対する令和4年度実績値の達成率「6割未満」

基本目標（１） 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

| | |
|-------|---|
| 数値目標 | 雇用創出数（５年間） 1, 000人 ＜参考＞ 単年度平均 1,000人÷5年=200人 |
| R4実績値 | 380人 （R2～4年度実績 993人） |

＜実績内訳＞

| 年度 | 雇用創出数 (A) | 内訳：雇用等形態 | | 参考 | |
|-----|--------------|----------|-------|------------|---------------------|
| | | 創業・自営 | 正規 | 非正規 (B) | 新規雇用者数 (A) + (B) |
| H27 | 260 | 15 | 245 | 37 | 297 |
| H28 | 255 | 13 | 242 | 68 | 323 |
| H29 | 338 | 9 | 329 | 56 | 394 |
| H30 | 295 | 12 | 283 | 26 | 321 |
| R元 | 389 | 17 | 372 | 48 | 437 |
| R2 | 345 | 17 | 328 | 22 | 367 |
| R3 | 268 | 25 | 243 | 48 | 316 |
| R4 | 380 | 25 | 355 | 44 | 424 |
| 計 | 2,530 | 133 | 2,397 | 349 | 2,879 |

〔令和４年度 雇用創出数 380人の内訳〕

- | | |
|----------------------|------|
| ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの | 262人 |
| ② 出雲ブランド認定企業によるもの | 58人 |
| ③ 児童クラブの充実支援によるもの | 21人 |
| ④ 新規就農者支援によるもの | 9人 |
| ⑤ 林業及び漁業新規就業支援によるもの | 8人 |
| ⑥ その他（飲食業、空き家店舗、介護等） | 22人 |

参考〔平成27年度～令和3年度 雇用創出数の内訳〕

- | | |
|--------------------------|--------|
| ① 企業誘致（新設・増設等）によるもの | 1,681人 |
| ② 出雲ブランド認定企業によるもの | 88人 |
| ③ 観光誘客推進事業によるもの | 81人 |
| ④ 新規就農者支援によるもの | 60人 |
| ⑤ 児童クラブの充実支援によるもの | 50人 |
| ⑥ その他（空き店舗対策、介護、創業支援事業等） | 190人 |

企業の新設・増設等が雇用創出に大きく貢献しています。
出雲ブランド商品認定、児童クラブの拡充支援及び新規就農者支援なども効果が表れています。

【数値目標の達成状況】 ※網掛けはR4にKPIを改訂した箇所

| 基本的方向 | No. | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 目標値 | | 実績値 | 評価 |
|------------------------|-----|----------------------|-----|----------|----------------|-------|----|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | |
| (1)第一次産業の活性化と担い手の育成・確保 | 1 | 認定新規就農者数 | 人 | 7人増 | 7人増 (対前年度比) | 9 | A |
| | 2 | 集約した施業団地数 | 団地 | 1 | 5 (5年間) | 1 | A |
| | 3 | 学校給食地産地消率 | % | 73.5 | 75.0 | 72.1 | B |
| (2)出雲ブランドの活用 | 4 | 出雲ブランド商品認定数 (累計) | 商品 | 29 | 39 | 28 | B |
| | 5 | 「おいしい出雲」認定数 (累計) | 商品 | 133 | 150 | 133 | A |
| (3)滞在型観光の充実とインバウンドの推進 | 6 | 観光入込客数 (暦年 1月~12月) | 万人 | 1,000 | 1,200 | 1,050 | A |
| | 7 | 宿泊者数 (暦年 1月~12月) | 万人泊 | 70 | 80 | 72 | A |
| | 8 | 外国人宿泊客数 (暦年 1月~12月) | 人泊 | 1,200 | 12,000 | 1,581 | A |
| | 9 | 出雲縁結び空港就航便の利用者数 | 万人 | 100 | 103 | 82 | B |
| (4)地場企業への支援 | 10 | 技能検定受検者数 | 人 | 70 | 350 (5年間) | 62 | B |
| | 11 | 島根大学との共同開発件数 | 件 | 6 | 30 (5年間) | 6 | A |
| | 12 | 創業者数 | 件 | 40 | 200 (5年間) | 55 | A |
| | 13 | ビジネスマッチングによる商談成約件数 | 件 | 53 | 265 (5年間) | 13 | D |
| | 14 | 就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率 | % | 83 | 82 | 83.7 | A |
| | | 就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率 | % | 67.5 | 70 | 67.0 | B |
| (5)企業誘致の促進 | 15 | 製造業・ソフト産業の立地計画認定件数 | 件/年 | 7 | 7 | 5 | C |
| (6)地域の産業を支える人材の確保 | 16 | 市内ソフト系IT企業従事者数 | 人 | 478 | 525 | 514 | A |
| | 17 | 就職を希望する市内高校新卒者の県内就職率 | % | No.14と同様 | | | |
| | | 就職を希望する市内高校新卒者の市内就職率 | % | | | | |
| | 18 | 県外交流会参加学生数 | 人 | 50 | 250 (5年間) | 16 | D |
| | 19 | 職場定着向上支援セミナー受講者数 | 人/年 | 100 | 500 (5年間) | 70 | C |
| 職場定着向上支援セミナー実施回数 | | 回/年 | 3 | 3 | 3 | A | |

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

| 指標数 | 評価 | | | |
|-----|----|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 20 | 11 | 5 | 2 | 2 |

(1) 第一次産業の活性化と担い手の育成・確保

- 継続的な新規就農者の確保に向け、オンライン産地ツアーや就農相談フェアなどを開催し、9名の認定新規就農者（うちIターン就農者2名）があり、目標を達成しました。
- 地産地消の推進については、毎月、「学校給食マッチング会議」を開催し、食材（野菜、果物）に関する情報交換を行い、積極的に献立に取り入れています。令和3年度の価格と比較すると、青果物は同程度だったが、加工食品類は上昇していたことから、加工食品類の産地で多かった地元産以外の金額割合が上昇し、目標を下回りました。

(2) 出雲ブランドの活用

- 出雲ブランド商品については、デジタルマーケティングを実施し、商品PR・販売促進に繋がっています。認定数については、事業者から申請が少なく、目標を下回りました。
- 「おいしい出雲」においても、県内外の百貨店・スーパーでのフェア開催や、JALふるさと応援隊や市内高校生徒の連携を行い、継続的に商品PR・販売促進に繋げ、企業側への浸透も進んだため目標を達成しました。

(3) 滞在型観光の充実とインバウンドの推進

- 観光客入込客数については、観光需要回復への起爆剤となるよう周遊型旅行商品の造成や、宿泊割引や各種キャンペーンを実施し、目標を達成することができました。また、3年ぶりに大型連休や夏休みに行動制限が解除されたため、令和4年12月には延べ1,000万人以上の観光入込客数となりました。
- 宿泊者数については、市内宿泊を伴う観光客の発地は関東圏が多いことから首都圏女子をターゲットにしたプロモーションを行いました。また、インスタグラムをはじめ、様々な媒体を活用した効果的な情報発信に努め、目標を達成することができました。
- インバウンドの推進については、今後は2025年大阪・関西万博を見据え、関西・山陽からの来雲、周遊を促進に向けた旅行商品の造成及び広報を行います。また、フランスにレップオフィスを設置し、メディアや旅行会社への働きかけにより、海外メディアへの露出を増やすとともにツアー造成を促し、誘客を促進します。
- 出雲縁結び空港利用者数については、キャッシュバックキャンペーンなど搭乗支援やイベント等を通じてPR活動を行いましたが、コロナ禍で観光重要が落ち込んだため目標を下回りました。

(4) 地場企業への支援

- 創業支援については、創業に関するセミナーや相談窓口等による支援を継続したことで、目標を達成することができました。
- 産学官金連携による医工連携の推進については、セミナーの開催や広報誌等の実施により、大学と地元企業との共同連携に繋がり、目標を達成することができました。

- 地場企業の人材確保については、高校の進路指導を担当する教員を対象に、採用情報の提供、企業との情報交換会の実施、生徒対象には、企業見学会、企業ガイダンス等を行い、概ね目標値を達成できました。
- 販路拡大については、関係団体と連携し、ビジネスマッチングに取り組みましたが、コロナ禍や物価高騰により企業活動が回復しきれていない状況のため、事業者の参加やバイヤーの活動が低調で目標値を下回りました。

(5) 企業誘致の促進

- 昨年に引き続き、コロナ禍の中、誘致企業へのフォローアップ訪問を行い、企業立地優遇制度を活用する立地済み企業の増設を働きかけました。また、首都圏を中心としたIT企業の新規立地を積極的に働きかけましたが、先の見通せない状況から新規立地や増設に対し企業が慎重な姿勢をとったため、目標値を下回りました。
- 引続き島根県とともに、誘致企業へのフォローアップ訪問を実施し、立地済み企業の増設を働きかけます。また、新しく設立したPeople Cloudとともに首都圏企業に対し、パルメイト出雲の新施設への新規立地を含め積極的に働きかけ、市外企業の誘致と雇用の場の確保を進めていきます。

(6) 地域の産業を支える人材の確保

- IT産業の振興については、市内IT企業見学会の開催や県事業「首都圏IT技術者のUIターンイベント」を利用し、市内ソフト系IT企業従事者数の確保に努めたため、目標を達成しました。
- 県外進学者へのアプローチについては、県外大学等の情報交換、「いずも学生登録」登録者へ出雲市の地域情報・就職関連情報の提供を行いましたが、コロナ禍で活動を制限された影響のため、参加希望する学生が少なく、目標を下回りました。
- 職場定着向上支援については、中小企業向けに合同研修を継続して開催しましたが、令和4年度はコロナ禍により参加希望者が減少したため、目標を下回りました。

【デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用】

| | | | |
|-----------|--|-----------|----|
| 事業名 | 周遊滞在型観光をめざした戦略的情報発信による「ご縁のまち“出雲”」創出プロジェクト | | |
| 事業期間 | 令和2年度～令和4年度 | | |
| 事業概要 | <p>「周遊滞在型観光の推進」「戦略的な情報発信」「インバウンドの推進」の3つの側面から本市観光の課題を整理し、各事業に取り組む。</p> <p>【周遊滞在型観光の推進】 観光客を市内の各地域に周遊させるため、二次交通対策として、広範囲に点在する各地域の観光資源をつなぐ周遊観光タクシー「うさぎ号」の運行の実施、自転車を活用したツーリズムを行う。</p> <p>【戦略的な情報発信】 宿泊しなければ来ることの出来ない地域（首都圏・FDA就航地等）や、旅行に興味を持つ人などをターゲットとし、国内外への動画やSNSを活用したデジタルマーケティングを実施する。計測可能なデータの収集・分析を行うことで戦略的な観光誘客政策・プロモーションの継続的改善、最適化を進め効果的な情報発信を図る。出雲大社以外の観光についても積極的に情報発信し、興味関心を持ってもらい周遊・滞在時間の延長につなげる。</p> <p>【インバウンドの推進】 出雲の認知度向上を図るため、国際交流員の取材による「外国人目線」をメインにした多言語Webサイトの充実、海外商談会やバス・空路を利用する外国人、個人旅行者客に向けた取組も実施し、外国人宿泊客の増加を図る。</p> | | |
| 事業費 | 51,859,275円（うち交付金 25,539,637円） | | |
| 数値目標の達成状況 | | | |
| | 重要業績評価指標（KPI） | 令和4年度実績 | 評価 |
| ① | 宿泊者数 70,000人増（794,951人⇒864,951人） | 723,279人 | B |
| ② | 外国人宿泊者数 6,000人増（11,552人⇒17,552人） | 1,581人 | D |
| ③ | 観光消費額 1,383百万円増 (59,847百万円⇒61,230百万円) | 46,397百万円 | C |

- 二次交通対策及び市内周遊滞在の促進策として、市内の観光地を周遊していただけるよう、観光周遊タクシーコースを拡充しました。また、様々な媒体を活用した効果的な情報発信に努めました。
- 市内宿泊を伴う観光客の発地は関東圏が多いことから首都圏女子をターゲットにしたプロモーションを行いました。長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅行需要の回復が遅く、目標を下回りました。
- インバウンドについては、コロナ禍の水際対策のため外国人観光客数は、目標を大きく下回る結果となりました。

| | | | |
|-----------|--|------------|----|
| 事業名 | 縁結びデジタルプロモーションによる「出雲ファン」の創出 | | |
| 事業期間 | 令和4年度～令和6年度 | | |
| 事業概要 | <p>各ウェブサイトのハブとなる専用ウェブサイトから、各ウェブサイトへ閲覧者を誘導するものと、インターネット広告から直接各分野のウェブサイトへ誘導する2つの仕組みにより、異なるファン層に対して、より効果的なプロモーションとなるよう取組を進める。</p> <p>【専用ウェブサイトから各ウェブサイトへの誘導】 「出雲」「移住・定住」「観光」「就職」などをキーワードに、出雲に興味を持ちそうな人（潜在的な出雲ファン）に対して、インターネット広告を出し、専用ウェブサイトへ誘導。専用ウェブサイトから、閲覧者が興味のある分野のウェブサイトの閲覧に繋げる。</p> <p>【インターネット広告からの各ウェブサイトへの誘導】 各ウェブサイトの最新の情報を、閲覧者の年代、居住地、性別、嗜好などの情報から、より明確にターゲットを絞ってインターネット広告を出し、各ウェブサイトへ直接誘導する。各ウェブサイトでは、観光、移住・定住、就職などに関する具体的な情報を提供することで、観光客、移住・定住者、産品購入者等の増加に繋げる。</p> <p>【共通】 インターネット広告の掲載状況及びウェブサイトへの誘導の状況を毎月分析し、ターゲット選定の条件や、広告掲載媒体を見直すことによって、より高い効果を得る。</p> <p>これらの取組を通じて、各ウェブサイトの閲覧数の増加を図り、出雲に興味・関心を持つ人を増やすことで、出雲のファンを「交流人口」から「関係人口」、「定住人口」へとつながる裾野の拡大をめざす。</p> | | |
| 事業費 | 10,338,900円（うち交付金 5,164,500円） | | |
| 数値目標の達成状況 | | | |
| | 重要業績評価指標（KPI） | 令和4年度実績 | 評価 |
| ① | 県外（国内）からの転入者数 120人増（2,646人⇒2,766人） | 3,101人 | A |
| ② | 観光入込客数 107万人増（8,788,358人⇒9,858,358人） | 8,531,238人 | D |
| ③ | ウェブサイトの閲覧件数 14万件増（41万件⇒55万件） | 585,830件 | A |

- 長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅行需要の低迷が続き、観光入込客数については目標を下回りました。
- 今後は、引き続きターゲット層への広告配信を戦略的に行うとともに、ウェブページ閲覧者が離脱しないよう、ウェブページのコンテンツの充実を図るなど、出雲ファンの創出に取り組めます。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト |
| 事業期間 | 令和2年度～令和6年度（出雲市は令和4年度から参加） |
| 事業概要 | <p>1. 地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで、地域の高校留学という選択肢をつくる【地域みらい留学】 地方の高校進学への推進に向けて、都市部の学校への網羅的なチラシ配布・WEB広告・メディア掲載・学習塾ネットワークへの告知・地域留学卒業生及び保護者からの口コミ等によるプロモーションを実施。さらなる興味喚起に向けて、都市部において、中学生親子が全国の地域留学在校生・卒業生・保護者の生の声を聞くことができる全国合同説明会を開催する。</p> <p>2. 高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる【高校×地域】 公教育の場へ多様なセクターの参入を積極的に促し、「高校と地域の協働による魅力ある教育環境づくり」を展開する。地域で挑戦する子どもたちの裾野を中学以前まで広げ、高校時代の取組にしっかりと接続させる。合わせて、こうした取組を推進する教員の時間の確保や地域外生徒の受入環境の整備などプロジェクト推進を支える環境を整える。</p> <p>3. 高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みをつくる【卒業生関係人口化】 高校卒業生が、進学や就職を機に地域を飛び出した後も、母校や地域に関わり続けるための機会やコミュニティをつくり、将来的な人材還流や濃い関係人口にしていくための仕組みをつくる。</p> <p>4. 共学共創により全国へスケールアウトさせる (1)「高校魅力化評価指標」を導入・実装することで地域と連携した取組の価値を見える化し、全国の自治体へ価値を発信 ・「高校魅力化評価指標」とは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングと（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが共同開発した、生徒の「主体性」「協働性」「探求性」「社会性」の変容具合を数値化したもの ・各高校で導入し、各高校での取組の価値を数値化し、全国に向けて展開 (2)「地域みらい留学」「地域×高校」「卒業生関係人口化」の実践を磨く全国規模の交流会を開催 ・「地域みらい留学フェスタ」と同時開催 (経費はフェスタ開催負担金に含まれている)</p> |

| | |
|-----|------------------------------|
| 事業費 | 1,603,593千円（うち交付金 801,789千円） |
|-----|------------------------------|

数値目標の達成状況

| 重要業績評価指標（KPI） | | 令和4年度実績 | 評価 |
|---------------|---|---------|----|
| ① | 「高校を核とした関係人口」の数 455人増（3,948人⇒4,403人） | 5,194人 | A |
| ② | 「都市部での地方高校全国説明会」参加者数 356人増（4,024人⇒4,380人） | 4,368人 | B |
| ③ | 「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数 197件増（773件⇒970件） | 1,002人 | A |
| ④ | 「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数 8団体増（78団体⇒86団体） | 100団体 | A |

- 県外へ進学した学生の地元就職促進及びつながりづくりを目的に、市内や県外での学生と若手社員との交流会、企業見学会を実施しました。また、学生就職サポーターによる相談対応や情報発信を行いました。
- イベント参加者数が想定よりも少なかったが、近年、学生がオンラインでの就活イベントに慣れたため、対面式イベントには参加しなくなっています。しかし、イベント参加後のアンケート結果において、地域や地元企業の魅力について関心を持った参加者が多く、地元就職への意識向上に繋がりました。

【地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用】

〔認定地域再生計画名〕

出雲市まち・ひと・しごと創生推進計画

〔寄附実績〕

| 寄附企業 | R4 寄附金額 | 充当事業 |
|---------------------------|---------|---|
| デジマティクス株式会社 (埼玉県久喜市) | 10 万円 | 《事業名》人材確保対策推進事業 《概要》 地元企業の人材確保を目的に、出雲地区雇用推進協議会の事業や県外での取組を実施するとともに、UIターン就職希望者及び外国人住民に対する就職支援を行う。 |
| 東武トップツアーズ株式会社 (東京都墨田区) | 100 万円 | |
| 株式会社高木包装 (奈良県葛城市) | 50 万円 | 《事業名》アニメコンテンツを活用した誘客促進事業 《概要》 出雲を舞台としたアニメ作品とのタイアップにより、若者世代等を中心とする新たな観光客層の誘客促進を図る。 |
| 株式会社コラントッテ (大阪市中央区) | 600 万円 | |
| 瀬戸株式会社 (東京都江東区) | 10 万円 | 《事業名》いずも産業未来博支援事業 《概要》 企業等の製品、技術等を一堂に集め、広く発信するとともに、未来の産業を担う若者と地元企業等が交流する場を創出し、将来の雇用確保と定住促進を図る。 |
| 東武トップツアーズ株式会社 (東京都墨田区) | 200 万円 | |
| 株式会社丸嘉 (東京都中央区) | 10 万円 | 《事業名》学生地元就職支援事業 《概要》 学生の地元就職促進のため、学生就職支援窓口を設置するとともに、高校から大学就活期までにおける地元就職機運を醸成する取組を強化する。 |
| 合計 | 980 万円 | |

基本目標（２） 出雲との縁をつなぎ、人の流れをつくる

| | |
|------|--|
| 数値目標 | 社会増（５年間） 1, 6 0 0 人 <参考> 単年度平均 1, 6 0 0 人÷5 年=320 人 |
| 実績値 | ▲ 4 4 人 （R2～4 年度実績 864 人） |

<実績内訳>

社会動態の推移(外国人を含む)

(単位：人)

| | 出雲市 | | | | | | 社会増 | 外国人数 (各年度末) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 転入等 | | | 転出等 | | | | |
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | | |
| H27年度 | 3,208 | 2,558 | 5,766 | 2,656 | 2,233 | 4,889 | 877 | 2,899 |
| H28年度 | 2,932 | 2,342 | 5,274 | 2,781 | 2,272 | 5,053 | 221 | 3,126 |
| H29年度 | 3,297 | 2,727 | 6,024 | 2,646 | 2,268 | 4,914 | 1,110 | 4,001 |
| H30年度 | 3,451 | 2,909 | 6,360 | 2,895 | 2,474 | 5,369 | 991 | 4,908 |
| R元年度 | 3,001 | 2,541 | 5,542 | 3,171 | 2,510 | 5,681 | ▲ 139 | 4,605 |
| R2年度 | 2,938 | 2,456 | 5,394 | 2,584 | 2,153 | 4,737 | 657 | 4,846 |
| R3年度 | 2,899 | 2,348 | 5,247 | 2,687 | 2,309 | 4,996 | 251 | 4,805 |
| R4年度 | 3,105 | 2,779 | 5,884 | 3,179 | 2,749 | 5,928 | ▲ 44 | 4,409 |

〔社会動態の内訳〕

| | 転入等 | | | 転出等 | | | 社会増減数 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| | 合計 | 日本人 | 外国人 | 合計 | 日本人 | 外国人 | 合計 | 日本人 | 外国人 |
| H27年度 | 5,766 | 4,416 | 1,350 | 4,889 | 3,988 | 901 | 877 | 428 | 449 |
| H28年度 | 5,274 | 4,006 | 1,268 | 5,053 | 3,992 | 1,061 | 221 | 14 | 207 |
| H29年度 | 6,024 | 4,219 | 1,805 | 4,914 | 3,969 | 945 | 1,110 | 250 | 860 |
| H30年度 | 6,360 | 4,305 | 2,055 | 5,369 | 4,189 | 1,180 | 991 | 116 | 875 |
| R元年度 | 5,542 | 4,224 | 1,318 | 5,681 | 4,015 | 1,666 | △ 139 | 209 | △ 348 |
| R2年度 | 5,394 | 4,425 | 969 | 4,737 | 3,948 | 789 | 657 | 477 | 180 |
| R3年度 | 5,246 | 4,190 | 1,056 | 4,995 | 3,842 | 1,153 | 251 | 348 | △ 97 |
| R4年度 | 5,884 | 4,520 | 1,364 | 5,928 | 4,102 | 1,826 | △ 44 | 418 | △ 462 |

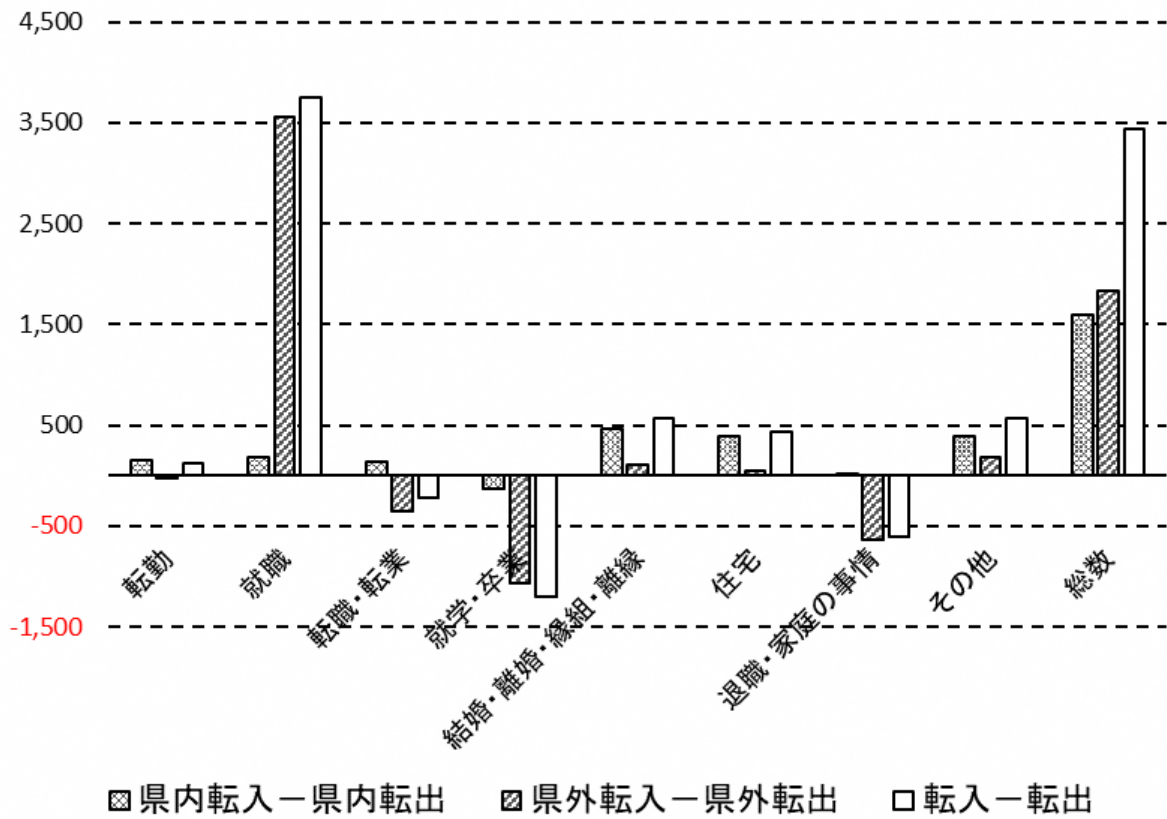
(出典) 住民基本台帳

転入者数に比べ転出者数が上回り、社会減となりました。日本人は増加しましたが、外国人は減少しました。

<参考データ>

①移動理由別の転入・転出超過の状況（原因者のみ）

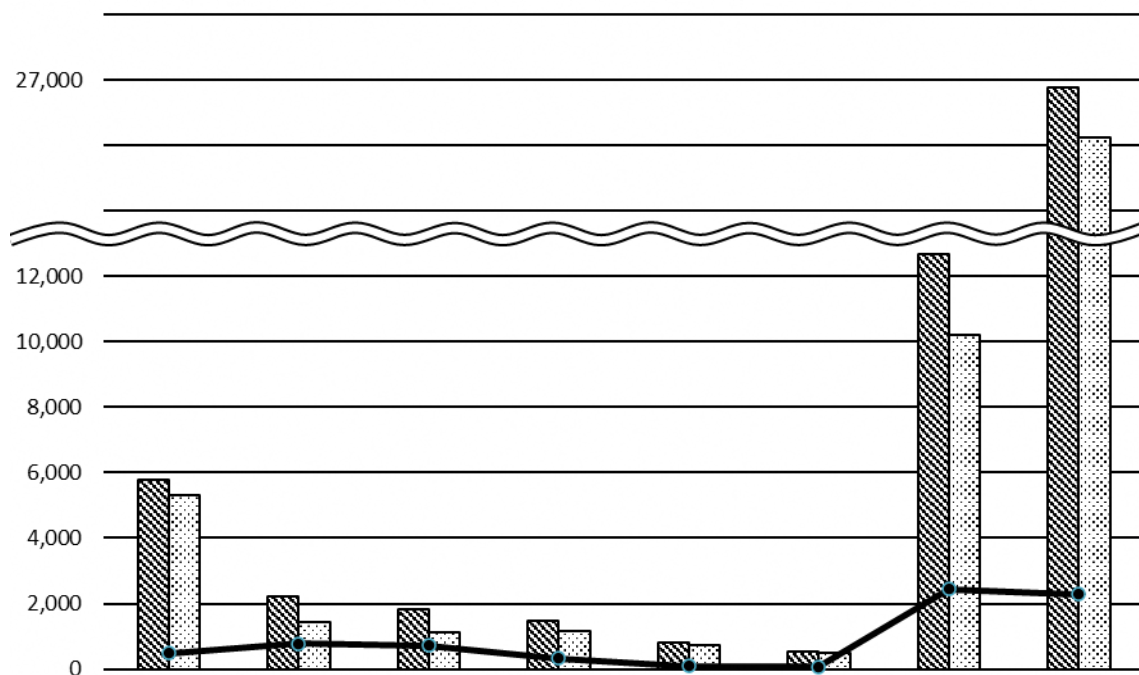
[平成27年(2015)10月～令和4年(2022)9月]



| | 転勤 | 就職 | 転職・転業 | 就学・卒業 | 結婚・離婚・縁組・離縁 | 住宅 | 退職・家庭の事情 | その他 | 総数 |
|-----------|-----|-------|-------|--------|-------------|-----|----------|-----|-------|
| 県内転入-県内転出 | 147 | 182 | 137 | △130 | 461 | 384 | 26 | 394 | 1,601 |
| 県外転入-県外転出 | △30 | 3,565 | △351 | △1,065 | 114 | 55 | △633 | 179 | 1,834 |
| 転入-転出 | 117 | 3,747 | △214 | △1,195 | 575 | 439 | △607 | 573 | 3,435 |

(出典)「島根の人口移動と推計人口」

②県内圏域別の人口移動の状況〔平成27年(2015)10月～令和4年(2022)9月〕



(単位：人)

| | 松江圏域 | 雲南圏域 | 大田圏域 | 浜田圏域 | 益田圏域 | 隠岐圏域 | 県内計 | 県外 |
|---------|-------|-------|-------|-------|------|------|--------|--------|
| ■ 転入 | 5,784 | 2,230 | 1,835 | 1,468 | 811 | 541 | 12,669 | 26,639 |
| ▨ 転出 | 5,305 | 1,451 | 1,115 | 1,152 | 724 | 477 | 10,224 | 24,357 |
| ● 転入-転出 | 479 | 779 | 720 | 316 | 87 | 64 | 2,445 | 2,282 |

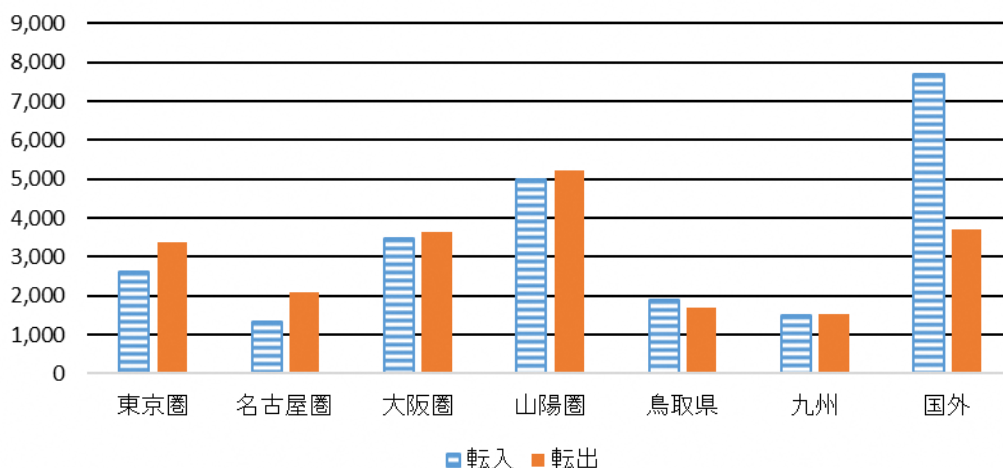
(出典)「島根の人口移動と推計人口」

【地域別転出入の状況】

(単位：人)

| | H27-H28 | | | H28-H29 | | | H29-H30 | | | H30-R1 | | |
|-----------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|---------------|---------------|--------------|
| | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 |
| 松江圏域 | 772 | 810 | ▲ 38 | 724 | 728 | ▲ 4 | 760 | 766 | ▲ 6 | 827 | 759 | 68 |
| 雲南圏域 | 332 | 224 | 108 | 328 | 206 | 122 | 309 | 197 | 112 | 332 | 217 | 115 |
| 大田圏域 | 250 | 154 | 96 | 276 | 118 | 158 | 289 | 145 | 144 | 270 | 163 | 107 |
| 浜田圏域 | 180 | 178 | 2 | 200 | 177 | 23 | 234 | 144 | 90 | 225 | 207 | 18 |
| 益田圏域 | 140 | 104 | 36 | 120 | 92 | 28 | 84 | 126 | ▲ 42 | 121 | 86 | 35 |
| 隠岐圏域 | 85 | 70 | 15 | 71 | 78 | ▲ 7 | 86 | 71 | 15 | 86 | 63 | 23 |
| 総計 | 1,759 | 1,540 | 219 | 1,719 | 1,399 | 320 | 1,762 | 1,449 | 313 | 1,861 | 1,495 | 366 |
| | R1-R2 | | | R2-R3 | | | R3-R4 | | | 合計 | | |
| | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 |
| 松江圏域 | 847 | 768 | 79 | 897 | 752 | 145 | 957 | 722 | 235 | 5,784 | 5,305 | 479 |
| 雲南圏域 | 270 | 198 | 72 | 349 | 198 | 151 | 310 | 211 | 99 | 2,230 | 1,451 | 779 |
| 大田圏域 | 247 | 174 | 73 | 245 | 176 | 69 | 258 | 185 | 73 | 1,835 | 1,115 | 720 |
| 浜田圏域 | 168 | 147 | 21 | 248 | 150 | 98 | 213 | 149 | 64 | 1,468 | 1,152 | 316 |
| 益田圏域 | 118 | 121 | ▲ 3 | 125 | 88 | 37 | 103 | 107 | ▲ 4 | 811 | 724 | 87 |
| 隠岐圏域 | 78 | 52 | 26 | 67 | 84 | ▲ 17 | 68 | 59 | 9 | 541 | 477 | 64 |
| 総計 | 1,728 | 1,460 | 268 | 1,931 | 1,448 | 483 | 1,909 | 1,433 | 476 | 12,669 | 10,224 | 2,445 |

③ 圏外圏域別人口移動の状況〔平成27年(2015)10月～令和4年(2022)9月〕



(注) 東京圏は「東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県」、大阪圏は「大阪府、京都府、兵庫県及び奈良県」

| | 東京圏 | 名古屋圏 | 大阪圏 | 山陽圏 | 鳥取県 | 九州 | 国外 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 転入 | 2,601 | 1,317 | 3,468 | 4,999 | 1,880 | 1,496 | 7,702 |
| 転出 | 3,365 | 2,088 | 3,624 | 5,221 | 1,698 | 1,539 | 3,708 |
| 転入－転出 | ▲ 764 | ▲ 771 | ▲ 156 | ▲ 222 | 182 | ▲ 43 | 3,994 |

(出典)「島根の人口移動と推計人口」

【地域別転出入の状況】

(単位：人)

| | H27-H28 | | | H28-H29 | | | H29-H30 | | | H30-R1 | | |
|------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|--------|--------|---------|
| | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 |
| 東京圏 | 383 | 441 | ▲ 58 | 347 | 460 | ▲ 113 | 339 | 493 | ▲ 154 | 312 | 529 | ▲ 217 |
| 名古屋圏 | 155 | 316 | ▲ 161 | 216 | 371 | ▲ 155 | 160 | 271 | ▲ 111 | 104 | 341 | ▲ 237 |
| 大阪圏 | 486 | 515 | ▲ 29 | 492 | 557 | ▲ 65 | 466 | 496 | ▲ 30 | 471 | 519 | ▲ 48 |
| 山陽圏 | 693 | 768 | ▲ 75 | 671 | 753 | ▲ 82 | 733 | 708 | 25 | 699 | 766 | ▲ 67 |
| 鳥取県 | 256 | 236 | 20 | 302 | 253 | 49 | 290 | 225 | 65 | 295 | 274 | 21 |
| 九州 | 211 | 200 | 11 | 209 | 219 | ▲ 10 | 196 | 195 | 1 | 257 | 251 | 6 |
| 国内計 | 2,595 | 2,785 | ▲ 190 | 2,629 | 2,980 | ▲ 351 | 2,586 | 2,816 | ▲ 230 | 2,623 | 3,177 | ▲ 554 |
| 国外 | 1,167 | 433 | 734 | 1,266 | 471 | 795 | 1,712 | 481 | 1,231 | 1,400 | 664 | 736 |
| 合計 | 3,762 | 3,218 | 544 | 3,895 | 3,451 | 444 | 4,298 | 3,297 | 1,001 | 4,023 | 3,841 | 182 |
| | R1-R2 | | | R2-R3 | | | R3-R4 | | | 合計 | | |
| | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 |
| 東京圏 | 397 | 482 | ▲ 85 | 410 | 437 | ▲ 27 | 413 | 523 | ▲ 110 | 2,601 | 3,365 | ▲ 764 |
| 名古屋圏 | 215 | 191 | 24 | 243 | 220 | 23 | 224 | 378 | ▲ 154 | 1,317 | 2,088 | ▲ 771 |
| 大阪圏 | 543 | 513 | 30 | 520 | 498 | 22 | 490 | 526 | ▲ 36 | 3,468 | 3,624 | ▲ 156 |
| 山陽圏 | 659 | 796 | ▲ 137 | 789 | 717 | 72 | 755 | 713 | 42 | 4,999 | 5,221 | ▲ 222 |
| 鳥取県 | 230 | 249 | ▲ 19 | 251 | 238 | 13 | 256 | 223 | 33 | 1,880 | 1,698 | 182 |
| 九州 | 198 | 214 | ▲ 16 | 221 | 209 | 12 | 204 | 251 | ▲ 47 | 1,496 | 1,539 | ▲ 43 |
| 国内計 | 2,646 | 2,972 | ▲ 326 | 3,101 | 2,836 | 265 | 2,757 | 3,083 | ▲ 326 | 18,937 | 20,649 | ▲ 1,712 |
| 国外 | 445 | 476 | ▲ 31 | 566 | 399 | 167 | 1,146 | 784 | 362 | 7,702 | 3,708 | 3,994 |
| 合計 | 3,091 | 3,448 | ▲ 357 | 3,667 | 3,235 | 432 | 3,903 | 3,867 | 36 | 26,639 | 24,357 | 2,282 |

【数値目標の達成状況】 ※網掛けはR4にKPIを改訂した箇所

| 基本的方向 | No. | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 目標値 | | 実績値 | |
|------------|-----|---|----|----------|-----------------|-------|----|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | 評価 |
| (1)出雲の魅力発信 | 20 | 「出雲人-IZUMOZINE」ホームページコンテンツアクセス件数（ページビュー数） | 万件 | 15 | 37 | 18 | A |
| | | 「いずも暮らし」ホームページコンテンツアクセス件数（ページビュー数） | 万件 | 19.6 | | 23.4 | A |
| | 21 | 図柄入り出雲ナンバー交付枚数 | 枚 | 6,000 | 8,000 | 7,010 | A |
| (2)移住促進 | 22 | UIターン就職支援窓口相談者数 | 人 | 392 | 500 (年間延べ人数) | 263 | C |
| | 23 | 移住支援金を利用して移住した世帯数 | 世帯 | 5 | 25 (5年間) | 2 | D |
| | 24 | 助成事業利用によるUIターン者数 | 人 | 20件/年 | 20件/年 | 13 | C |
| | 25 | 移住促進住まいづくり助成認定件数 | 件 | 10件/年 | 10件/年 | 29 | A |
| | 26 | 新婚・子育て世帯UIターン支援助成件数 | 件 | 35件/年 | 35件/年 | 4 | D |
| | 27 | 過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数 | 件 | 30件/年 | 30件/年 | 66 | A |
| | 28 | 空き家バンク登録物件数 | 件 | 25 | 150 (5年間) | 27 | A |
| (3)定住促進 | 29 | 過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数 | 件 | No.27と同様 | | | |
| | 30 | 市内大学・専門学校在学学生数 | 人 | 2,000 | 2,000 | 1,882 | B |

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

| 指標数 | 評価 | | | |
|-----|----|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 11 | 6 | 1 | 2 | 2 |

(1) 出雲の魅力発信

- 図柄入り出雲ナンバーは、八岐大蛇デザインを採用したことで、若い人をはじめ多くの年代の方から支持を得ており、さらに出雲ナンバー推進協議会を通じて積極的な広報啓発事業を実施したことで、安定して申込数を伸ばし目標を達成しました。
- 出雲の「しごと」と「暮らし」の情報発信については、令和4年度はアクセス数が順調に伸び、目標を達成しました。今後もアクセス数の動向を注視し、効果的な情報発信を行います。

(2) 移住促進

- UIターン希望者等を対象に、就職相談、職業紹介などを実施しましたが、相談者数の減少により、目標を下回りました。
- 東京圏からの移住促進については、東京で移住フェスに参加し、移住相談を受けました。相談数は一定数ありましたが、コロナ禍による行動制限のため制度申請し移住に至った件数は目標を下回りました。

- 「女性のU I ターン支援」「移住促進住まいづくり助成」「新婚・子育て世帯U I ターン支援助成」「過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成」各種移住助成については、コロナ禍であったため、オンラインによる移住相談会等を利用し周知を行いました。
新婚世帯・子育て世帯のU I ターン支援については制度初年度につき、制度が十分に浸透せず、目標を下回りました。今後も利用者の意見も聞きながらニーズにあった制度への検討も行い、事業を進めていきます。
- 空き家バンクの充実と利活用の促進については、R 4年度からスタートした「空き家安心サポート委託事業」など、民間団体との連携を強化し、積極的に周知啓発、登録支援を行った結果、目標を達成しました。引き続き民間団体と連携し、制度の周知を図ります。

(3) 定住促進

- 地元大学・専門学校の魅力化支援等については、市民向けの公開講座や地域活動に在学生が参加し、進学を考える高校生やその保護者に各学校の魅力発信を行っています。令和4年度はコロナ禍であり、市内学校は医療系学校が多いため、講座等への学生の参加が少なく、魅力を十分に伝えることができなかったため、目標を下回りました。

基本目標（3） 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

| | |
|------|---|
| 数値目標 | 出生数（5年間）8,000人 <参考> 単年度平均 8,000人÷5年=1,600人 |
| 実績値 | 1,350人（参考：合計特殊出生率 1.62（暦年）） |

<実績内訳>

出雲市の自然動態の推移（外国人内数あり）

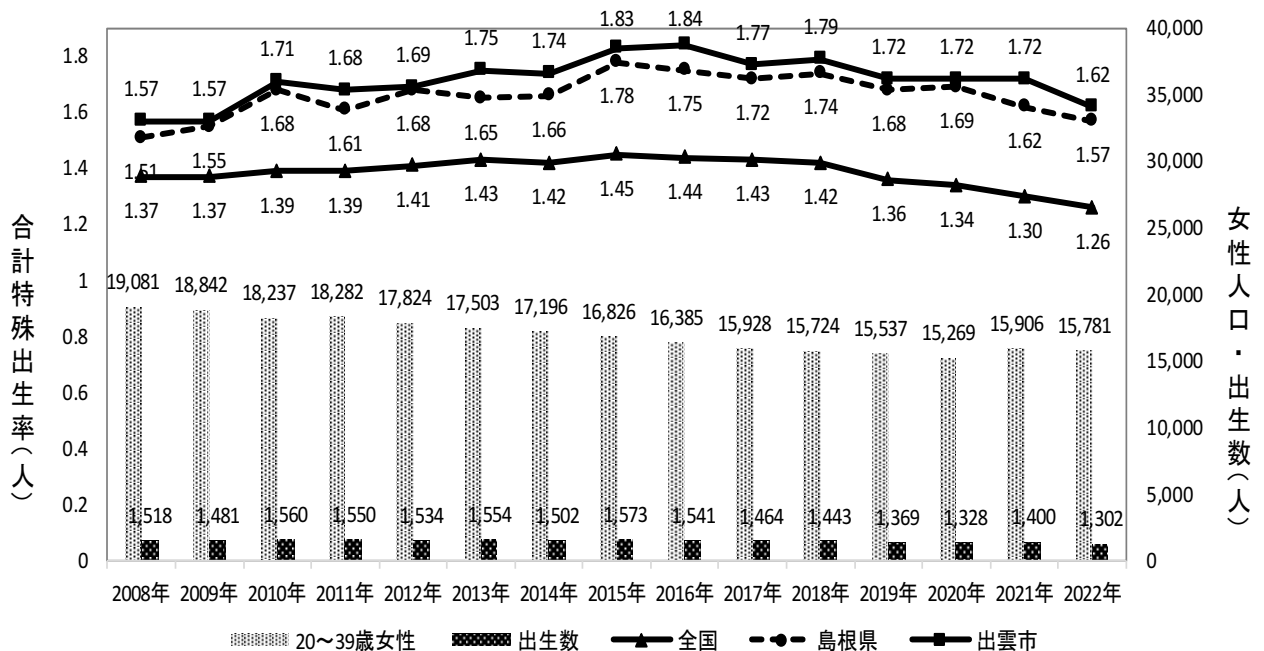
| | 出生数 | | 死亡数 | | 自然増減数 | |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | | うち外国人 | | うち外国人 | | うち外国人 |
| H27年度 | 1,599 | 20 | 2,057 | 10 | △ 458 | 10 |
| H28年度 | 1,571 | 23 | 2,025 | 3 | △ 454 | 20 |
| H29年度 | 1,474 | 17 | 2,088 | 2 | △ 614 | 15 |
| H30年度 | 1,406 | 37 | 2,024 | 5 | △ 618 | 32 |
| R元年度 | 1,436 | 47 | 2,100 | 2 | △ 664 | 45 |
| R2年度 | 1,381 | 65 | 2,120 | 4 | △ 739 | 61 |
| R3年度 | 1,490 | 65 | 2,223 | 9 | △ 733 | 56 |
| R4年度 | 1,350 | 70 | 2,392 | 4 | △ 1,042 | 66 |

（出典：住民基本台帳）

出生数については、R3年度は増加に転じましたが、令和4年度は再び減少に転じました。死亡数は増加傾向で、自然減の状態が続いています。

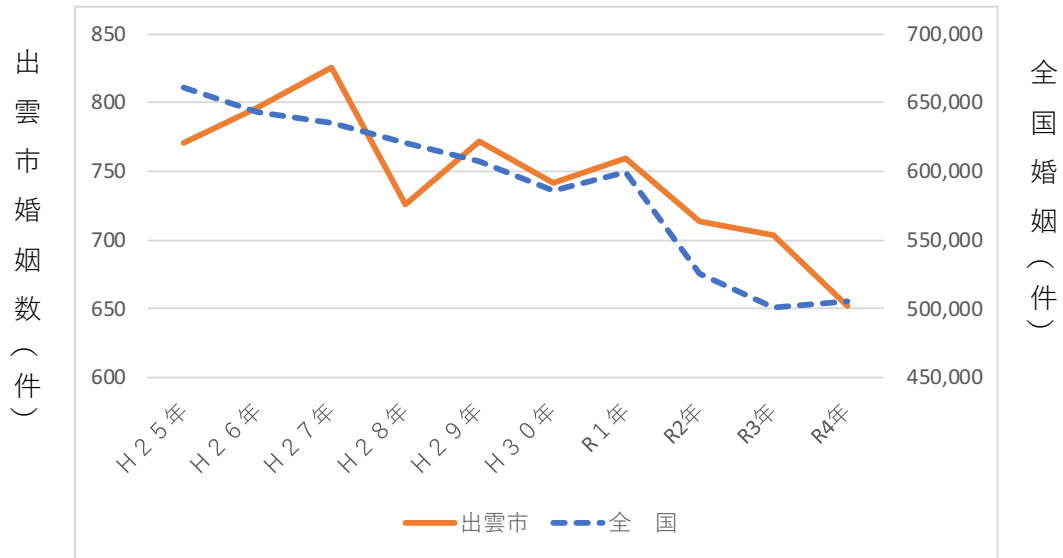
<参考データ>

合計特殊出生率の推移と女性人口（20～39歳）・出生数（暦年）



出典：厚生労働省「人口動態統計」及び島根県「島根の人口移動と推計人口」

② 婚姻数の推移



(単位：件)

| | H25年 | H26年 | H27年 | H28年 | H29年 | H30年 | R1年 | R2年 | R3年 | R4年 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 全国 | 660,613 | 643,749 | 635,156 | 620,523 | 606,866 | 586,481 | 599,007 | 525,507 | 501,138 | 504,878 |
| 出雲市 | 771 | 797 | 826 | 726 | 772 | 742 | 760 | 714 | 703 | 652 |

出典：厚生労働省「人口動態統計」

【数値目標の達成状況】

| 基本的方向 | No. | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 目標値 | | 実績値 | 評価 |
|-----------------------|--------------------|-------------------------------------|-------|----------|-------------|--------|----|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | |
| (1)結婚支援 | 31 | 婚活ツアー実施回数 | 回 | 2 | 10 (5年間) | 0 | D |
| | | カップル率 | % | 25.0 | 30.0 | 0 | D |
| | 32 | ライフデザイン講座開催数 | 回 | 3回/年 | 3回/年 | 3 | A |
| (2)妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援 | 33 | 一般不妊治療費助成制度利用 (申請) 件数 | 件 | 206 | 250件/年 | 154 | C |
| | | 不育症治療費助成制度利用 (申請) 件数 | 件 | 10 | 50 (5年間) | 10 | A |
| | 34 | あかちゃんのお世話教室満足度 | % | 95.0 | 100.0 | 95.7 | A |
| | | はじめての子育て講座満足度 | % | 93.0 | 100.0 | 90.4 | B |
| | | 4か月児健診対象者の絵本とのふれあい実施率 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | A |
| | | にこっとティータイム講座満足度 | % | 100.0 | 100.0 | 96.0 | B |
| | 35 | 子育て支援センター利用者数 | 人日 | 45,659 | 54,000 | 45,609 | B |
| | | ファミリーサポートセンター利用者数 | 人日 | 6,270 | 6,270 | 5,544 | B |
| | 36 | 4月1日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数 | 人 | 1 | 0 | 0 | A |
| | | 児童クラブ利用者数 | 人 | 2,546 | 2,641 | 2,497 | B |
| 37 | 通訳・翻訳件数 (子ども未来部所管) | 件 | 2,300 | 2,300件/年 | 2,635 | A | |

| 基本的方向 | No. | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 目標値 | | 実績値 | 評価 | |
|--------------------|--|---|---------|--------------|---------|--------|------|---|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | | |
| (3)教育の充実 | 38 | 全国学力調査 ・授業を理解している割合 | 小学5年生 | % | 国語 88.0 | 90.0 | 84.6 | B |
| | | | | | 社会 88.0 | 90.0 | 実施なし | - |
| | | | | | 算数 88.0 | 90.0 | 78.1 | B |
| | | | | | 理科 88.0 | 90.0 | 90.4 | A |
| | | | 中学2年生 | % | 国語 83.0 | 85.0 | 81.4 | B |
| | | | | | 社会 83.0 | 85.0 | 実施なし | - |
| | | | | | 算数 83.0 | 85.0 | 77.8 | B |
| | | | | | 理科 83.0 | 85.0 | 73.9 | B |
| | 全国学力調査 ・授業で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる割合 | 小学6年生 | % | 83.0 | 85.0 | 75.1 | B | |
| | | 中学3年生 | % | 78.5 | 80.0 | 82.7 | A | |
| | 39 | 全国学習状況調査 ・授業のICT活用状況（学級週1回以上） | 小学校 | % | 92.0 | 100.0 | 81.9 | B |
| | | | 中学校 | % | 92.0 | 100.0 | 78.5 | B |
| | 40 | 全国学習状況調査（中学3年生） ・英語の授業は好きだ（肯定回答割合） | % | 60.0 | 65.0 | 回答項目なし | - | |
| | | 全国学習状況調査（中学3年生） ・英語の授業はよく分かる（肯定回答割合） | % | 75.0 | 80.0 | 回答項目なし | - | |
| | 41 | 学校図書館を活用した授業実施数 （1学級あたりの年間時数） | 小学校 | 時間 | 25.0 | 30.0 | 22.7 | B |
| | | | 中学校 | 時間 | 5.0 | 8.0 | 7.0 | A |
| | | 前項目のうち学校司書（学びのサポーター、読書ヘルパー）が授業に関わった割合 | 小学校 | % | 20.0 | 20.0 | 15.8 | C |
| | | | 中学校 | % | 14.0 | 20.0 | 6.4 | D |
| | 学校司書（学びのサポーター）配置割合（配置校/全校） | % | 20校/47校 | 30校/44校 | 20校/47校 | A | | |
| | 42 | 不登校児童の割合 | % | 2.78 | 1.98 | 4.08 | C | |
| 43 | 支援生徒数（ひとり親家庭等学習支援） | 人 | 56 | 280 (5年間) | 76 | A | | |
| 44 | 日本語指導期間1年以上の児童生徒の日本語能力ステージの向上割合（日本語指導1年の児童生徒の1年経過後の日本語能力ステージの向上） | % | 83.0 | 85.0 | 82.9 | B | | |
| 45 | アプロ-チカリキュラム策定率 | 保育所 | % | 85.0 | 100.0 | 85.7 | A | |
| | | 幼稚園 | % | 100.0 | 100.0 | 100.0 | A | |
| | 保幼小交流の日参加率 | % | 100.0 | 100.0 | 89.3 | B | | |
| | 育ちの応援シート回収率 | % | 100.0 | 100.0 | 99.9 | B | | |
| (4)ワーク・ライフ・バランスの推進 | 46 | ワーク・ライフ・バランスに関する企業や市民に向けた講座の開催数 | 回/年 | 5 | 5 | 6 | A | |

※No38 全国学習状況調査において、社会調査が実施されていないため実績値未記入

※No40 全国学習状況調査において、調査項目が無くなったため、実績値未記入

重要業績評価指標（KPI）の評価結果

| 指標数 | 評価 | | | | |
|-----|----|----|---|---|-----|
| | A | B | C | D | その他 |
| 42 | 14 | 17 | 3 | 3 | 5 |

(1) 結婚支援

- 昨年度に続き、コロナ感染拡大防止のため、婚活ツアーは実施できず、目標を下回りました。婚活ツアーは開催できませんでしたが、各種団体等と連携し、独身男女へ出会いの場の提供や婚活セミナー、オンライン婚活などを実施しました。
- ライフデザイン講座については、従来の単独開催形式だけでなく、婚活イベントやセミナーの中にライフデザイン講座を組み込んだため、目標を達成しました。

(2) 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

- 不妊治療及び不育治療への支援については、一般不妊治療費助成は令和4年度に改正を行いましたが、周知不足な部分があるため、目標値を下回りました。今後は、医療機関などと連携し、治療開始を検討している夫婦を含め、広く制度が認知されるよう周知を行います。
- 親子のきずなづくり支援については、対面での教室や講座開催を基本として、概ね目標値を達成しました。限られた時間で対象者すべてのニーズを満たすことは難しいですが、必要な場合は個別で対応するなど、対象者の満足度を上げ目標を達成できる取組を行います。
- 子育て支援センターやファミリーサポートセンター利用者数は、少子化や新型コロナウイルス感染拡大による行動制限により利用者数が減少したため、目標値を下回りました。
- 子育てと仕事の両立支援に掲げる待機児童数、児童クラブ利用者数については、施設整備やスタッフの処遇改善を行い、認可保育所の定員増加や市設置クラブの受入枠増加に取り組み、概ね目標を達成しました。
- 外国籍保護者への子育て支援については、ポルトガル語通訳翻訳員を1名配置して、通訳や翻訳を行いました。窓口又は電話による通訳や、保育所・幼稚園での訪問相談、乳幼児健診など利用者のニーズに対応し、目標を達成しました。今後も通訳翻訳員を配置し、通訳対応の他、翻訳物の充実に一層努めていきます。

(3) 教育の充実

- 学力向上支援については、教育指導員による学力向上訪問、「めあてと振り返りを意識した授業スタンダード」の普及・定着について、年間を通して実施したことにより、学力向上の取組の重点である「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善の組織的な推進が図られました。そのため、新学習指導要領の趣旨に基づいた授業づくりについて、理解が進みました。
しかし、各教科の授業構想を練るにあたり、ゴールの姿を意識した「めあて」と「振り返り」をしっかりと練り上げて授業構想することに課題が残るため、目標を下回りました。
- ICT機器導入による効果的学習の推進については、いずれもGIGAスクールプランのもと、タブレットPC、大型モニター等の活用が推進されましたが、教員間でICT活用能力の違いがあり、活用頻度に差が生じているため、目標を下回りました。

- 不登校児童生徒の割合については、近年全国的に増加傾向にあり、本市でも増加傾向にあるため、目標を下回りました。不登校の要因については、個々の状況により様々であり、特定することは難しく、数値の目標の未達成の要因についても様々な要因が考えられます。
- ひとり親家庭の生徒への学習支援については、定員に対して募集より多い希望者があったため、令和4年度からは非課税世帯等の中学生も対象に加え、全体定員を増やし実施し、目標を達成できました。
- 日本語指導が必要な児童生徒への支援の充実については、指導員等の計画的な配置により、指導時間が確保でき、きめ細かな指導や支援を実施することができたため、目標を概ね達成することができました。

(4) ワーク・ライフ・バランスの推進

- 企業及び市民への啓発促進について、ワーク・ライフ・バランスに関する企業向け出前講座開催に取り組みました。雇用推進協議会等でチラシ配布をすることにより、企業向け出前講座について市内事業所に周知した結果、予定を上回る受講希望企業に対応することができ、目標を達成できました。今後もさらなる推進に向け、事業を継続していきます。

基本目標（４）住みやすさ No. 1 のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

| | |
|------|--|
| 数値目標 | 市民満足度調査「住みやすいと感じる人の割合」 90% <参考> 平成24年度の同調査結果 83.4% 平成28年度の同調査結果 87% 令和元年度の同調査結果 86% |
| 実績値 | 89.4%（令和3年度調査結果より） |

【令和3年度市民満足度調査の概要】

- (1) 調査対象者 市内に居住する満18歳以上の者
- (2) 調査数 4,000人
- (3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送ウェブ又は郵送にて回答
- (4) 調査結果 回答数1,718人（回答率43.0%）

【数値目標の達成状況】 ※網掛けはR4にKPIを改訂した箇所

| 基本的方向 | No. | 重要業績評価指標（KPI） | 単位 | 目標値 | | 実績値 | 評価 | |
|----------------|-----|---|-------------------|--------|--------|--------|------|---|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | | |
| (1)安全、安心なまちづくり | 47 | 防災行政無線個別受信機、有線放送及びいずも防災メールの加入・登録者（世帯）数 | 人 | 34,353 | 55,000 | 38,014 | A | |
| (2)生涯現役のまちづくり | 48 | 特定健診受診率 | % | 56.0 | 60.0 | 44.1 | C | |
| | | がん検診受診率 | ①胃がん検診（40～69歳） | % | 10.0 | 10.0 | 5.4 | D |
| | | | ②大腸がん検診（40～69歳） | % | 50.0 | 50.0 | 36.8 | C |
| | | | ③乳がん検診（40～69歳） | % | 60.0 | 60.0 | 51.6 | B |
| | | | ④子宮がん検診（20～69歳） | % | 70.0 | 70.0 | 48.4 | C |
| | | | ⑤結核・肺がん検診（40～69歳） | % | 10.0 | 10.0 | 5.3 | D |
| | 49 | 朝食を食べる子どもの割合 | 3歳児 | % | 98.0 | 100 | 97.4 | B |
| 小学6年生 | | | % | 92.0 | 100 | 89.3 | B | |
| 中学3年生 | | | % | 92.0 | 100 | 87.8 | B | |
| 食のボランティアの活動回数 | | 回/年 | 284 | 330 | 295 | A | | |
| (3)共生のまちづくり | 50 | 自動車改造費助成件数（操作系改造を行った15歳～65歳の方の件数） | 件/年 | 10 | 10 | 7 | C | |
| | | 自動車運転免許取得費助成件数 | 件/年 | 5 | 5 | 0 | D | |
| | 51 | 障がい者差別解消法における合理的配慮や“あいサポート”運動の普及啓発の出前講座受講人数 | 人/年 | 1,680 | 1,680 | 2,273 | A | |
| | 52 | 外国人住民の長期（5年以上）滞在者の割合 | % | 40.0 | 42.0 | 37.9 | B | |

| 基本的方向 | No. | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 目標値 | | 実績値 | 評価 |
|----------------|-----|------------------------------------|--------|----------|---------|---------|----|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | |
| (4)中山間地域の活性化 | 53 | 小さな拠点づくりに向けた取組（現場支援地区の累計数） | 地区 | 4 | 5 | 3 | C |
| | | 過疎地域等への移住・定住促進住まいづくり助成件数 | 件 | No.27と同様 | | | |
| (5)地域を支えるひとづくり | 54 | 自治会加入世帯数 | 世帯 | 38,925 | 39,000 | 38,396 | B |
| | 55 | コミュニティセンター利用者数 | 人 | 623,636 | 810,000 | 541,428 | B |
| | 56 | 市民協働事業の補助対象事業採択数 | 件/年 | 5 | 6 | 5 | A |
| | 57 | 出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数 | 人 | 7,915 | 11,360 | 10,677 | A |
| | | スポーツイベント市民参加者数 | 人 | 2,424 | 2,900 | 1,300 | D |
| | 58 | 島根大学・島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数 | 件 | 123 | 130 | 118 | B |
| (6)交通ネットワークの確保 | 59 | 山陰道「出雲・湖陵道路」進捗率 山陰道「湖陵・多伎道路」進捗率 | % % | 85.0 | 100.0 | 85.0 | A |
| | 60 | 出雲縁結び空港就航便の利用者数 | 万人 | No.9と同様 | | | |

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

| 指標数 | 評価 | | | |
|-----|----|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 23 | 6 | 8 | 5 | 4 |

(1) 安全、安心なまちづくり

- 防災行政無線戸別受信機、いずも防災メールの加入・登録促進については、広報紙、ホームページ、出前講座等で防災行政無線個別受信機やいずも防災メールの加入勧奨を行った結果、市民の防災意識が向上し、目標を達成しました。昨今大規模災害が頻発しているため、今後も様々な機会を通して、幅広い年齢層への周知に努めていきます。

(2) 生涯現役のまちづくり

- 健康診査・がん検診の受診の推進については、WEBでの申込を取り入れ、受診しやすい環境を整える取組を行いました。効果的な周知ができていない状況のため、目標を下回りました。今後は、休日セットがん検診や事業所検診との連携やLINEやSMSを活用した個人への案内通知とリマインド通知など、受診率を上げる取組を行っていきます。
- 第3次出雲市食育推進計画に基づく取組の推進については、出雲市食のボランティア連絡協議会へなどと連携し、地域における食育推進に取り組みましたが、目標を下回りました。今後は引き続き周知を行うとともに、子どもの食生活は、少なからず大人の影響を受けることがあるため、保護者への啓発も機会を捉えて行っていきたいと考えます。

(3) 共生のまちづくり

- 障がい者の就労等社会参加の促進については、身体障がい者手帳所持者に自動車改造及び運転免許取得の助成を実施しました。個別に制度周知を行うなど周知していますが、要件に該当し希望する者が多くいる年とそうでない年にはバラつきがあり、目標を下回りました。令和5年度からはその他の障がい者手帳所持者にも対象を拡大するため、個別に制度周知を行うほかホームページによる周知を行っていきます。

- 協働によるバリアフリー化の推進については、あいサポート運動及び障がい者差別解消法の出前講座や障がい者週間における啓発活動に取り組みました。コロナ禍の中でも、感染対策を講じたうえで講座等を開催したため、目標を達成しました。
- 多文化共生推進プランに基づく取組の推進については、外国人住民のための防災訓練や、合同企業説明会を行うなど外国人住民が暮らしやすいまちづくりに取り組みましたが、市内事業所の業況により、多くのブラジル人従業員が転出したことにより、目標を下回りました。

(4) 中山間地域の活性化

- 地域課題解決に向け、小さな拠点づくりに向けた取組を行っていますが、地域住民による話し合いが促進され、具体的な実践活動につながった地域もありますが、実践に向かえない地域もあり、目標を下回りました。少子高齢化による人口減少が加速する中、今後は地域住民が主体となって地域づくりを進める機運醸成を行うとともに、中山間地域の活性化を図るため中山間地域振興室による、「うみ・やま支援施策検討会議」において、より具体的な施策を横断的に検討していきます。

(5) 地域を支えるひとづくり

- 自治協会等が取り組む加入促進や住民自治活動に対する支援については、自治会支援アドバイザー事業を継続実施し、4地区で専門業者からアドバイスを受けました。コロナ感染拡大の影響で地域行事が制限され、加入促進啓発活動を実施する機会も減ったこともあり、目標を下回りました。
今後は自治会への依頼内容の変更など、時代に合った自治会活動・運営が行えるように見直しを行い、自治会加入を促進していきます。
- コミュニティセンターを活用した地域事業の促進については、コロナ感染拡大の影響に加え、高齢化の進展等により既存グループ等の活動も減少し、目標を下回りました。
- 市民協働の推進については、補助対策事業採択数は目標を達成しましたが、コロナ感染拡大により事業内容を縮小する団体がありました。今後は補助金の内容の見直しや、市内のNPO法人へ制度を広くPRし、より多くの団体が利用できるように取り組みます。
- 市民レベルでのスポーツ・文化活動の推進については、コロナ感染拡大により中止されていたイベント等が秋頃から再開されました。総合芸術文化事業鑑賞者数は目標を達成しましたが、スポーツイベントについては、参加自粛傾向とイベントの周知不足により目標を下回りました。
- 地元大学・専門学校との連携による人材育成については、各校と包括的連携協定を締結し、公開講座の開催、講師の派遣などの共同事業に取り組んでいます。市内大学・専門学校は医療系学校であり新型コロナ感染を考慮され、令和4年度は共同事業数が減り、目標を下回りました。

(6) 交通ネットワークの確保

- 高速道路ネットワークの早期構築については、令和6年度の開通に向け、国において事業推進が図られ、目標を達成できました。道路整備の進捗状況はほぼ計画通りに進んでいます。

基本目標（５）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

| | |
|------|--------------------------|
| 数値目標 | 中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持 |
| 実績値 | 63.3万人（令和5年3月末 住民基本台帳人口） |

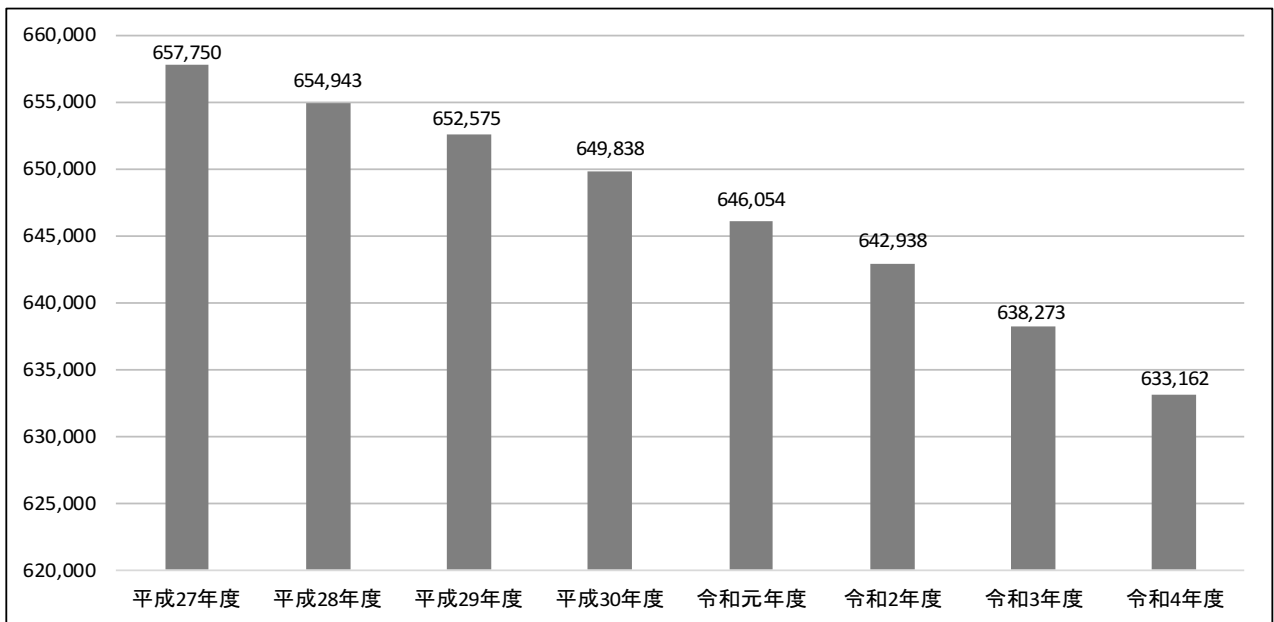
<実績内訳>

中海・宍道湖・大山圏域 住民基本台帳人口の推移

（単位：人）

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 人口 | 657,750 | 654,943 | 652,575 | 649,838 | 646,054 | 642,938 | 638,273 | 633,162 |
| 前年度対比 | - | △ 2,807 | △ 2,368 | △ 2,737 | △ 3,784 | △ 3,116 | △ 4,665 | △ 5,111 |

（注）人口は各年度の3月31日現在の数値



中海・宍道湖・大山圏域人口は、60万人を維持しています。
一方で、圏域人口は減少傾向が続いており、継続した取組が必要です。

【数値目標の達成状況】

| 基本的 方向 | No. | 重要業績評価指標 (KPI) | 単位 | 目標値 | | 実績値 | 評価 |
|---|-----|----------------|---------|--------------|---------------|--------------|----------|
| | | | | R4年度 | R6年度末 | R4年度 | |
| (1)中海・穴 道湖・大山 圏域市長 会を軸とした 広域連携の 推進 | 61 | ビジネスマッチング商談件数 | 件 | 680 | 3400 (5年間) | 479 | C |
| | 62 | 圏域での外国人観光客宿泊数 | 千人 泊 | 333 | 459 | 11 | D |
| | 63 | 圏域での国内観光客宿泊数 | 万人 泊 | 423 | 433 | 280 | C |
| | 64 | 観光消費額 | 億円 | 1,112 | 1,160 | 700 | C |
| | 65 | 免税店登録店舗数 | 店舗 | 190 | 220 | 148 | C |
| | 66 | 圏域内への移住者数 | 人 | 3,000 | 3,000 (維持) | 2,904 | B |

重要業績評価指標 (KPI) の評価結果

| 指標数 | 評価 | | | |
|-----|----|---|---|---|
| | A | B | C | D |
| 6 | 0 | 1 | 4 | 1 |

- 圏域人口が減少している中、圏域内への移住者数は、概ね3,000人を維持しており、広域連携の取組が一定のダム効果を発揮していると考えます。
- ビジネスマッチングの商談件数は、目標値には及ばなかったものの、新型コロナウイルスの影響で令和3年度はオンラインでの開催だったが、令和4年度は対面式で開催することができ、参加企業及び商談件数ともに前年を上回る結果となりました。山陰最大規模の商談会に位置付けられており、事業効果も高いと考えられるため、随時、企業ニーズ等を柔軟に反映させながら、事業継続していきます。また、医工連携事業では、1件の実用化が実現しました。
- 観光振興事業については、新型コロナウイルスの影響があるなか、海外への観光プロモーション、特に台湾向けのプロモーションに力を入れ、インバウンド再開を見据え、積極的な事業展開を図りました。
- 新型コロナウイルスの影響により、訪日外国人客数及び国内旅行者数が激減しているなか、観光産業活性化に向け、効果的に情報発信を実施することにより、圏域周遊促進及び旅行消費拡大の取組を強化していく必要があります。